

BILZARD
ENTERTAINMENT

OVERWATCH



最後通告

ANDREW ROBINSON 著

ストーリー

ANDREW ROBINSON

イラスト

HANNAH TEMPLER

シニア・ディレクター、ストーリー&フランチャイズ デベロップメント

VENECIA DURAN

シニア・マネージャー、ライティング&ブックス

MATTHEW COHAN

エディトリアル・スーパーバイザー

CHLOE FRABONI

エディター

SHANNON WATTERS

シニア・ブランド・アーティスト

SOPHIE ERB

プロダクション

BRIANNE MESSINA, TAKAYUKI SHIMBO, JT TORREA, QIANNAN ZHANG

ゲーム・チーム・コンサルタント

JEFF CHAMBERLAIN, MIRANDA MOYER, NESSKAIN,
DION ROGERS, JUDE STACEY, JUSTIN RICHMOND

日本語翻訳

SACHI MORITO



Blizzard.com

© 2026 Blizzard Entertainment, Inc. BlizzardおよびBlizzard Entertainmentのロゴは、米国およびその他の国におけるBlizzard Entertainment, Inc.の商標または登録商標です。
Published by Blizzard Entertainment.

このストーリーはフィクションです。本作品に登場する名前、キャラクター、場所、出来事は、著者または作画者の想像による産物または架空のもので、実在する人物（存命中または故人）、出来事、団体、場所に類似するいかなる描写も、風刺的な意図はなく、偶然によるものです。

Blizzard Entertainmentは著者や第三者のウェブサイトもしくはそのコンテンツを管理しておらず、またそれらについて一切の責任を負いません。



最後通告

各国の最高指導者に告ぐ……よく聞け。貴様らの国家の存亡に関わる話だ。私の名はマルツィア・パルタロッティ。コロッセオのチャンピオン“ラ・ルーパ”……あるいは、“ヴェンデッタ”と言えばわかるだろう。貴様らにも、ようやく不都合な真実と向き合う時が来た。

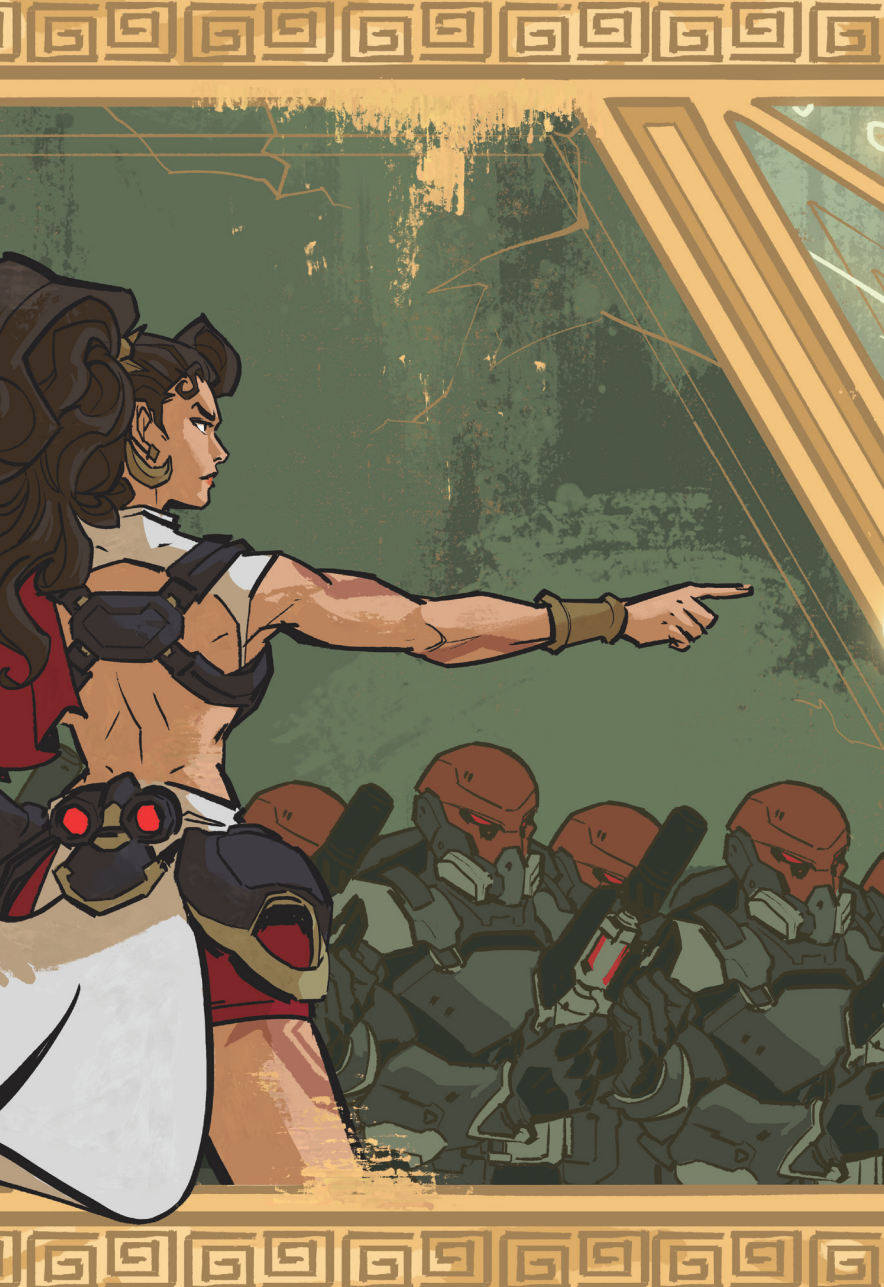
この世界を破滅に導いたのは、他でもない貴様らだ。誰しもがそれを知りながら、為す術なくもがき苦しんでいる……無関心を貫くことで益する、一部の人間を除いてはな。世界をより良き方向へ導くこともできたにもかかわらず過ちを犯して続けてきたのは、ひとえに貴様らが脆弱で、腐敗しきった無能だからにすぎん。

私も貴様らと同じ“持てる者”として生まれた。だが私の場合、父の死によって、約束されていたすべてを奪われた。父と協力関係にあったはずのタロンの下衆どもが、卑劣にも我が一族の財産を盗み去り、私の生来の権利を踏みにじったのだ。

喪失の痛みと引き換えに、この身には己を何よりも強く突き動かす感情——怒りが宿った。私はあの時誓った……灰の中から立ち上がり、必ず復讐を果たすと。内に宿る炎を糧に、奴らに奪われたすべてを必ず取り戻してみせると。誰しもが私の敗北を期待する中、私はほんのわずかな尊厳をかき集めるため、ひたすらに戦い、血を流した。

私は屈することなく、力を蓄えた。勝利を積み重ね、ついには己の帝国を築き上げた。私を侮った人間すべてに裁きを下せるほどの、強大な帝国を。世界のあるべき姿を見据え、それを実現しようとする確固たる意志——それが我が運命を切り拓いたのだ。

我が支配下にあるタロンと比べれば、貴様らの知るかつてのタロンなど赤子も同然だ。私はすでに世界中の選ばれし者たちと同盟を組み、新たな時代を築くために必要なすべてを確保した。圧倒的な兵力を含めな。我が剣闘士部隊は、世界最先端の技術によ





って比類なき力を手にしている。その力は各国の軍や治安部隊——旧世界の守護者たちを何度もねじ伏せてきた事実から明らかなのは言うまでもない。

聞け、この声明に耳を傾けるすべての市民よ……貴様らの指導者は未来を決して見据えてはいない。奴らはいまだ我々を自らの脅威ではないと考えているようだが、見誤りも甚だしい。私の野心こそが世界の見据えるべき未来。我が帝国に従わぬのなら、貴様らだけでなく全世界にその代償を支払わせる。いいか、我々はEMP爆弾を釜山から回収し、配備した。大陸を木々端微塵にできるほどの威力を持たせたうえでな。私の指示一つで、いつでも起爆できる状態だ。

貴様らの権力はもはや絶対ではない。それでもまだ抗う意志があるなら、貴様らの兵隊を好きなだけ寄越すがいい。タロンは世界中の組織と手を結んでいる。我々の力が及ばぬ場所など、どこにも存在しない。我が復讐の炎を継承する剣闘士部隊が、貴様らに格の違いを教えてやるまでだ。

私の要求を拒否すれば、貴様らのその矮小な自尊心と引き換えに何十億もの人間が苦しむことになるだろう。四十八時間待つてやる。その間に答えを出せ。我が支配を受け入れるか、塵となって消えるかは貴様ら次第だ。

